

北神けいろうの国政報告：7・8月号

いつも大変お世話になっております。

このたび、参議院選挙ではご支援を賜り、心より感謝と御礼申し上げます。

全国的には、大きく議席を失いました。

その理由は、やはり総理の消費税引上げにかんする一連の対応でしょう。増税の話が唐突に出てきた。もちろん、総理は、すぐに引上げるのではなく、検討をするという趣旨で発言をしました。しかし、それにしては、具体的な税率に触れたり、低所得者に還付をする細かい制度について言及をしたので、「そこまで具体的に検討しているのか」と思われた方々もたくさんいらっしゃったでしょう。

増税批判に対して、総理の発言がブレたことも、総理大臣の指導力への信頼が揺らぎました。

さらには、菅総理のみならず、鳩山前総理や小沢前幹事長、いや、民主党政権の政策等についても批判や不安があったことも受け止めなければなりません。

したがって、こうしたことについて、改善すべきところは改善していきます。また、人事についても、菅総理を変えるべきではないと考えます。

今回の民主党支持の低下は、菅さん一人の責任ではないし、国益を考えても、コロコロ総理大臣を変えることは決して有益ではない。

ただ、他方で、もう少し、政府与党内の人事を挙党体制に変更すべきだとは思います。

私は、こうした考えで、しっかりと政権の立て直しのために奮闘してまいります。そして、野党とも連携を図りながら、税金の無駄遣いを正し、医療年金介護の建直し、さらには、経済成長の促進について取り組んでまいります。

国会がねじれたからには、これからは、野党の連携しか道はありません。それができなければ、衆議院では、与党の議席は全体の三分の二もないので、全ての法案が参議院で野党に否決をされたら、廃案になります。

今後については、各野党とどういった形で協力をできるのか、謙虚に話をしていくことしか道はありません。とにかく、野党との協力関係がつかれなければ、一切法案を通らなくなり、国政に急ブレーキがかかった状態になります。

困難な道のりですが、今回の参議院選挙で示された国民の意を体して、邁進してまいります。